

トラック 4

あら、お目覚めになってしまわれたのですか？

くすくすくすっ♡

お眠りになられながらもわたくしのおっぱいから

口を離すことなく、安らかにお眠りになっていたご様子、

大変可愛らしかったですよ♡

如何いたしますか？

そのまま、わたくしのおっぱいをお吸いになられながら

もう一度お眠りになりますか？

うふふふふ…♡

それとも…お眠りになられている最中に昂ってしまわれた

性器の方をお鎮めしましょうか…？

そうでなければ、きっといつまでもお眠りになられませんかでしょうし…♡

わかっておりますよ♡

淫魔であるわたくしの乳を吸いながら、

乳房に顔を沈め、甘い匂いを嗅ぎ続けてしまったのですもの…

おっぱいが恋しくて恋しくて仕方なくなってしまうれて、

性器の疼きと興奮で目が覚めてしまわれたのでしょうか？

うふふふふ…♡

ええ♡はい♡承知しておりますよ♡

今度は朝までお目覚めにならないように、

おっぱいおむつを履かせて差し上げますね♡

柔らかくて重たいおっぱいで性器を包み込んで、

むぎゅ、むぎゅ、と愛撫して差し上げます♡

わたくしのおっぱいは貴方様もご存じの通り、

とっても柔らかくて大きいものですから、

性器のみならず…下腹部を丸ごと可愛がって差し上げられるのですよ♡

だって…わたくしのこの両乳房は貴方様の腰よりも大きいのですから♡

性器のみならず、腰や下腹部を全て包み込めるおっぱい…

ですから、おっぱいおむつなのでございます♡

ご想像なさってください♡

もっちりと柔らかで、弾力がたっぷりとあるおっぱいで

性器や腰を包み込まれたり…♡

絹よりも滑らかな乳肌で性器を擦られたり…♡

ぱふぱふ…♡たぽたぽ…♡ぱふぱふ…♡たぽたぽ…♡と、

優しく、優し〜く乳房で性器を甘やかされたり…♡

おっぱいに締め付けられて、性器をむぎゅうっと強く圧迫されたり…♡

そんな風にされたら、きっとわたくしのおっぱいの虜になってしまわれますね…？

よろしいですよ…♡

わたくしは貴方様の妻であり、

貴方様はわたくしの愛しい愛しい夫なのでございますから…

わたくしのおっぱいの虜になり、快楽に溺れなさっても…♡

うふふふふ…♡

おっぱいおむつ、履かせて差し上げますね♡

わたくしの乳房に包まれて、赤子のようにお漏らしなさってくださいませ♡

では、おしめ替え…して差し上げますね♡

今度は頭ではなく、お尻をわたくしのお膝に乗せてあげますよ♡

ふふふ…♡お恥ずかしがらずに…ね？

わたくしに任せてくださいませ…♡

少し、失礼しまして…

はい♡

これでもう、貴方様の下半身はわたくしの膝の上でございます♡

ふふふ…♡

こうなってしまうと、本当に赤子のようにございますね♡

おみ足をだらしなくお開かれになって、

股間を晒して、性器をわたくしにお委ねになっていらっしゃるお姿…♡

うふふふふ…♡

大変…お可愛らしゅうございますよ…♡

びく、びく…と性器をお震わせになって

わたくしの乳房に包み込まれるのを

今か今かとお待ちになっている様子を眺めておりますと、

わたくしの心も昂ってきてしまいます…♡

貴方様はどうしてそうも、

わたくしの心をくすぐるのがお上手なのでございましょうか♡

目の前で情けなく性器を震えさせて
快楽を求めているお姿を見せつけられてしまいますと、
甘やかして差し上げたい、という心が
我慢ならなくなってしまうではありませんか…♡

ではあ……♡
おっぱいおむつ、履かせて差し上げます…♡
もしかしたら、二度と脱げなくなってしまうかもしれません…♡

ほおら…♡
お見えになりますか？
貴方様の性器、わたくしのおっぱいの谷間に全て隠れてしまいましたよ♡
わたくしの乳房の大きさ……
ええと…貴方様に伝わりやすい単位で言いますと…

130センチもあるのです…♡
130センチでございますよ？ひゃく…さん…じゅっ…センチ…♡
そんなにも大きく、たわわに実ってしまったおっぱいですから、
貴方様の性器をすっかり包み込んで隠して差し上げることなんて、
たやすいことなのでございます…♡

うふふふふ…♡
貴方様の性器を包んで差し上げている乳房の大きさを聞いて、
よりいっそう興奮してしまわれたのですね？
おっぱいで挟んで、くるんであげているだけですのに、
先ほどから性器が震えっぱなしになっていますもの…♡
くすくすくすっ…♡

でも、申し訳ございません…♡
本当はもっと存分にビクビクとお震えになりたいでしょうに、
わたくしのおっぱいが大きくて重たいせいで、
ぷるぷると弱弱い動きになってしまっていますね…♡
代わりに、わたくしがおっぱいを動かして性器を蕩けさせて差し上げます♡
こうも大きくて重たい乳房が下半身にのしかかっているのは、
貴方様自ら腰を突き上げたところで…一切お動きになれませんでしょうし…♡
くすくすくすっ…♡
ご奉仕、させていただきますね…♡

最初から激しく動かして差し上げたらすぐにお漏らしになってしまうと思ひまして、
まずはゆっくりと…おっぱいの柔らかさと感触をお楽しみになっていただきます♡
ほおら…♡むぎゅ、むぎゅ…♡

もっちりとして肉厚なおっぱいで性器を揉んで差し上げると、
とぷ…とぷ…と我慢汁が漏れ出てしまいますね♡
お気になさなくてもよろしいのですよ♡
わたくしのおっぱいは今、貴方様のおむつでございますから…♡

ぱふ…ぱふ…♡たぽ…たぽ…♡
脂肪をたっぷりと蓄えた肉厚な乳房の柔らかさ…
とくとお味わいくださいませ…♡
むにゅう…っとおっぱいを押し付けて性器を優しく潰して差し上げたり…
もにゅ、もにゅ、と弾力を性器に味わわせて差し上げたりすると…ほら♡
頭の中が、おっぱいでお漏らしすることはいっぱいになってしまいますね？

柔らかくて肉厚なおっぱいの感触…
でも、優しすぎるあまりに絶頂までは至れないもどかしさ…♡
その二つを与えてあげますと、男の人はみんな、
おっぱいの虜になってお射精なさることしか考えられなくなってしまわれるのです♡
うふふふふ…♡

意地悪をしてしまって申し訳ございません…♡
貴方様がわたくしのおっぱいを求めてくださる様子があんまり可愛らしく…
それに、わたくしとしましてもおっぱいを求められるのは嬉しく…♡
つつい、わたくしのおっぱいのことしか考えられないように魅了してしまいました♡
くすくすくすっ…♡

続いて…すっかりおっぱいに甘えて蕩けてしまわれている貴方様の性器を…

乳房でたっぷりと摩擦して差し上げますね♡
露が漏れて谷間がぬるぬるとしているものですから、
滑らかにおっぱいを擦りつけることができるのですよ♡
谷間の深いところに性器を閉じ込めてしまっていますから、
長くて太い乳房を交互に擦りつけ合うと、
むにゅむにゅ…ずりずり…♡と、
性器が巻き込まれて摩擦されてしまいますね♡

うふふふふ…♡

かつてはこの乳房でのご奉仕愛撫を求めて、
殿方たちは競ってわたくしの機嫌を取ろうと金品を差し出したものでした。
ですが…わたくしの愛する貴方様なら…
ただただ一方的に愛されて奉仕されることが叶うのですよ…💋
貴方様がわたくしにとってどれほど特別な存在か、
この乳によってたっぷりと思い知っていただきたいのです…♡
だって…今の貴方様はわたくしに愛され、おっぱいおむつにお漏らしをするだけの
弱くて惨めで可愛らしい…赤ん坊なのですから♡

本当はいけないことなのですよ…？
こんな風に、優しく…丁寧に ご奉仕されて気持ちよくなってしまうなんて…♡
性器が甘やかされるのに慣れてしまわれて、
自分一人ではお射精なさるところか、勃起もままならなくなってしまうですよ？
淫魔であるわたくしの極上の乳房によって甘やかされ、
蕩けるほどの快楽をひたすらに与えられてしまっては、
もうわたくしなしでは生きてはいけなくなってしまうかもしれません…♡

うふふふふ…♡
わたくしとしては、そちらの方が都合がよろしいのですけれど…♡
だって、そうなれば愛しい愛しい貴方様が他の誰にも目を向けず、
わたくしだけを愛してくださるのですから…💋

そうして、摩擦によってお漏らし欲が昂ってしまわれた性器を
今度は乳房で激しく扱って差し上げますね♡
むにゅうとおっぱいで性器を包んで締め付けながら
極上の柔らかさを誇る、乳房の下半分を腰に打ち付けるように
たぷんたぷん…♡むぎゅ、むぎゅ…♡として差し上げると、
腰が自然と…へこへこ…♡へこへこ…♡と動いてしまわれますでしょう？

うふふふふ…♡

肉厚でもっちりとしたおっぱいが股間に激しくぶつかりますと、
身体が本物の性行為をしていると勝手に勘違いしてしまって、
このようにへこへこ…♡へこへこ…♡と腰が動いてしまうのです♡
実際はわたくしの大きいたわわに実ったおっぱいによって
一方的に快感を与えられているだけというのに…♡

うふふふふ…♡

でも…♡そんな貴方様も大変お可愛いですよ♡
今度はみっともなく動いてしまわれる腰に合わせて、
おっぱいを上下に動かして…ぱん…ぱん…と押し付けて差し上げますね♡
覚えてはいけない快感を性器にしっかりと染み込ませて、
わたくしのおっぱい以外では二度と射精のできない身体になってしまいましょう？
そうして…おっぱいおむつを脱ぐこともできない
赤ん坊になってしまってくださいね…♡
永遠に…おっぱいで甘やかして可愛がって差し上げますから…💋

ほおら…♡へこへこ…♡へこへこ…♡
腰が動いてしまわれたところにおっぱいをぱんっ…♡ぱんっ…♡
まるで乳房に下半身が丸ごと呑み込まれてしまったような心地でしょう…？

おや…？
腰が跳ねてしまわれましたね♡
もうそろそろ絶頂に至ってしまわれるのですか？
それでは……最後に、口付けをして差し上げます…♡
わたくしの乳房、大変に大きいものですから、
こうして谷間に性器を挟み込んでおっぱいで包んであげたまま、
身体を屈めて口付けを交わすことが可能なですよ♡
淫魔であり、人とは比較にならないほど長くて大きな乳房をしている
わたくしだからこそできる芸当でございます♡
乳にもして差し上げたことはございません♡
貴方様へだけの、特別な口付けにございます…♡
口付けを受けたまま、お射精なさってくださいませ…♡

あ～～む…♡
ちゅう～～っ♡
ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡
じゅるるるるる…♡
ちゅう～～っ♡
ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡
ちゅう～～っ♡

ぷはあ……♡

お射精、お疲れ様にございました♡
性器をビクビクと震わせて射精なさっている時の、
情けなく蕩け切ったお顔、とっても可愛らしかったですよ♡
これから毎日そのお顔を見せてもらえるのだと思うと、今からまた昂ってしまいます♡
淫魔の 130 センチもあるおっぱいでご奉仕されてお射精してしまったせいで、
もう貴方様は一生、わたくしのおっぱいの虜にございます♡
毎日毎晩、命尽きるその日までわたくしの乳房で夢心地にして差し上げましょう♡

うふふふふ…♡

ああ…それと、せっかく夫婦の契りを交わし、口付けまでしたのですから…
夫婦なのですから、今後はこう呼びください…♡
貴方様が命果てるその日までお仕えする、
貴方様の妻の名前でございます……💋